

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員会議での再確認、また玄関・各ユニット内で何時でも見られる所に掲げ、理念を共有できるようし、実践に繋がるようにしている	「安らぎのある・安心して暮らせる・家庭的な明るい生活を、支援します」を理念として掲げており、定期的に曜日を決め職員全員で唱和している。前年度より職員は変わっておらず、理念を周知し理念に則したケアに心がけている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の町内会にも参加、草刈り・祭りにも参加。また施設内でのパーベキューや餅つき等に協力して頂いている	ホームは開設して10年以上を経過しており、地域に根差した運営がなされている。地域住民として町会の清掃、神社の清掃、祭礼行事にも参加し地域の方にもホームを理解して頂いており、浸透しているのことが感じられる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で認知症の方の事例や予防法などお話ししたり、ご近所の方で困ったことがあったら相談に乗れるような声かけをしている。施設の玄関にパンフレットを設置している		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月1回会議を開催する中で入居者の状況や行事等の意見交換し参考にしてている。アンケートの結果・改善策なども報告し意見をサービス向上につなげるようにしている	2ヶ月に1回の運営推進会議開催に伴い市職員、警察官、消防職員、家族など9名～10名が参加の中で状況報告、アンケートの結果等報告しており、長年の実績と踏まえサービスの質の向上にむけた意見交換が行われている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議や市のケアマネ会議等で相談・支援・情報交換等行い、困った事あれば市役所に電話や直接相談している	運営推進委員会、ケアマネ会議等で相談、情報交換等を行っており、連携が図れる体制となっている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	管理者・職員間で、施設内で入居者に対して身体拘束にならぬように、外部研修に参加をしたり、職員会議の議題に挙げ職員一丸となり身体拘束をしないケアを心がけるようにしている。玄関の施錠については防犯の為夜間につき施錠している	外部、内部研修に参加し、新聞記事を掲示したり、事例検討会を行うなど、身体拘束並びに虐待について学んでいる。スピーチロックにならない様に原動にも注意を払いケアを実施している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修に参加をしたり、職員会議の議題に挙げたり、また新聞記事による虐待があった場合など施設内でも取り上げて、自施設職員が虐待を起こす事のないように防止に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	入居時や家族背景が変わった時、制度を説明し必要に応じ支援している。制度を利用されている方もいる		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に入居契約書・重要事項説明書等を用い十分に説明を行い理解・納得を図っている。改定時にも各案内等用いて行っている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に参加の際ご意見等傾聴するように行っている。また1年に1回アンケート調査を行い意見等を運営に反映させるようにし、報告もしている。	年1回のアンケート調査を実施し、意見を言える体制を整えている。入居者は、珠洲市、能登町の方が殆どで中には、70歳台の方も入居しておられる。ご家族が面会に来て下り、管理者・計画作成者は面会時に、フリーで対応し、コミュニケーションを図り希望を引き出す様に努め入居者様の思いを汲み取り、家族の希望も踏まえてプランに反映している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	1年に1回職員へ提案書を取る事やその都度改善事項等取るようにし、集計した結果を反映されるようにしている。又年に数回個人面談等で職員との話し合いの場がある	職員は、ホームに対する思いがあり、提案書などでも意見が言える体制作りに努めている。経営者は、職員に還元する事もあり、経営者は、職員を大切にしている事が感じられた。また、物品の取り付けや取り外しなど直ぐに対応し職員や入居者様の生活に不備が生じないように努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は個々の努力を評価し給与の水準の見直しや職場環境の改善に努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修参加や職員のレベルに合った課題に取り組めるようキャリアパス実践計画を立てて実践し、その実践内容も職員会議の場で成果発表を行って職員間での共有に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他の施設見学や研究発表を機会の依頼を受けたり、地域のグループホームの管理者やケアマネ等の交流会に参加しサービスの向上に取り組んでいる		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者ご本人が話しやすい環境を心がけて、傾聴する姿勢を示した上で、安心できるような環境・関係づくりに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の思いや要望を出来る限り受け入れられるよう、面会時に近況報告や必要に電話連絡を行い関係作りに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族との関わりの中からや他のサービス事業所等から出来る限り情報を得た上での対応に努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者のできる事(今までの経験や特技等)を活かし、ホームでの一員として役割を担って頂けるよう関係作りに努めている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会時に本人の思いを聞いている場合、職員は代弁者として可能な限り情報提供し、本人と家族の橋渡しの役割を担うように心がけている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	可能な限りお祭り等に出かけられる方は参加し、途切れないように努めている	その人らしい生活が送れる様に入居者様の関係性が途切れないよう、可能な限り地域行事に参加している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の関係性を把握するように努めて、孤立しないように声かけ等するよう関わるようにしている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	手紙を頂いたりしているが、必要に応じて関係性を継続できるように努めている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の会話の中からや家族との会話の中で、入居者の思い・希望に沿えるように心がけている	日頃の会話や仕草から入居者様の「思い」を汲み取る支援に取り組んでいる。ご家族には日々の写真やお便りを送付し、入居者様個々の暮らしぶりを伝え、来所されたときに生活に関する事や運営に関する意見・要望を聞いている。聞き取った思いはプランに組み入れ、本人本位の暮らしができるように支援にしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族からの情報収集に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日の過ごし方や様子をみて、その人らしい過ごし方できる様に現状の把握に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	チーム会での検討を含め、その都度必要に応じて変更している	2名～3名の職員が介護計画担当と一緒に作成している。ご本人が本人らしく生活できるように今までの生活歴を、ご家族にお伺いするなど可能な限り本人、ご家族の思いを反映している。カラオケや、おしゃれなどもできる限りの事を行ってもらっている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日記録するようにし、情報を共有するようにしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ひとり1人に合わせた活動やサービスに可能な限り対応出来る様に努力している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事・踊りへの発表会の見物等の参加、後見人の方の面会や衣替え等の際のお手伝い等支援している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	可能な限り入居前の主治医を継続できるように調整しかかりつけ医になるようにし、入居後も往診・必要時受診するなど行っている	入居者様のこれまでのかかりつけ医への受診を基本としている。通院にはホームの職員が受診支援を行っており、医療機関との情報共有が密に図れている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師1名で24時間対応の体制をとっている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された場合、可能な限り医師の治療方針等を把握するようにし、また病院関係者と情報交換を行い早期に退院できるよう努めている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期になる前や重度化した場合、本人・家族の意思を確認して、事業所としてできる事を理解してもらった上で終末期になれば主治医・家族・職員と情報共有を行いながら看取りを行っている	契約の段階から家族に終末期について説明をされており、段階的に状態に応じて医師の参加の下で何度となく説明を行っている。	家族からのアンケートでも、職員は親切に対応してくれていると感謝の声もあり、看取りに対しての職員の理解や対応が素晴らしいと感じられた。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアル作成し、急変時等あった場合起こりうる事を想定し情報の共有できるようにして実践力を身につけてもらうようにしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練実施でその際消防署より職員の方に確認してもらい指導を受けている。また夜勤の職員は2名での出火を想定した平面図上での避難訓練を実施している	年2回開催する避難訓練は、消防職員立ち合いのもと夜間を想定した避難訓練を実施している。非常事態を外部に知らせる為、道路側の看板に回転灯を設置している。ミサリルに対する避難訓練も今後取り入れて行くか検討している段階である。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員会議での研修実施。ひとり1人にあつた声かけ・言葉がけの対応に心がけている	職員は、入居者様と好きなことが言い合える信頼関係を大切に接しているが、対応が馴れ合いとならないように努めている。援助が必要な時人前であからさまな介護や言葉かけをしないよう、ご本人が分かりやすい言葉を選び、自尊心に配慮した対応を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の意思表示がでやすように、職員は傾聴する姿勢をするように心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、無理なく本人なりの1日を過ごして。希望がある際は本人に選択できるような関わりを持って支援するようにしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入居者の好みに合わせた自由に選択できるように心がけている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	地元の野菜を使った献立に、調理の際の下ごしらえ(皮むき等)手伝ってもらい、出来る範囲内でテーブル拭きやお盆拭きなど行ってもらっている	能登の食材の宝庫でもあり、珍しい物があれば入居者様に食べて頂けるように努めている。近隣の方との交流もあり、頂いた地元の食材を使って料理している。季節の食材を使い、よもぎ、ふき、らっきょう、梅干し、干し柿も入居者と一緒に作っている。毎日の食事の準備には、下ごしらえを手伝って頂いたり入居者様の出来る範囲の事を、押しつけせずに自主的に行えるよう声かけを行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べやすい形態・量を考えて、栄養のバランスを考えて提供するようにしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	寝る前に義歯洗浄し、必要な方はポリドント等の洗浄剤を使用している。適宜必要な際口腔ケアを促すようにしている		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを把握する為、記録してトイレでの排泄ができるように支援している	入居者様の排泄パターンを排便チェックシートにより量や形状を職員全員が把握に努めている。布パンツの方も2名～3名おられ、その方の状態に応じた声掛け対応を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給と適度な運動、排便チェック表で確認しながら、便秘にならないよう対応している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週4回入浴できるような環境であり、入浴した際は入浴を楽しめるよう心がけている。	年に数度、希望者と近隣の銭湯に行ったり、季節を感じられるように、ゆず湯やしょうぶ湯を取り入れている。湯舟の温度や入浴剤は好みに応じて対応しており、入浴時間は午前、午後と好きな時間に入浴できる体制となっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ひとり1人の思いで好きな時間に自室で休んで頂いている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬情報綴りがあり何時でもみれるようにしている。また内服変更時申し送りを活用したり、内服薬の袋に記載するなどし理解できるように努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る限り楽しんで頂けるような支援に努めている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お寺のお参り・墓参り・買い物・ドライブの際にご自宅周囲へ出向く等出来る限り希望に沿えるように努めている	平均年齢が89歳。暖かい季節にはドライブに出掛ける事も有る。年に数回足湯に出掛けたり、春には、つつじ祭りに出掛けたり、地域のイベントにも参加している。ご本人のご希望に応じて出来る限り自宅周辺への外出も行えるように努めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	必要な方は所持している。個々の能力によるが、買い物を希望や物品購入の依頼、自動販売機で飲み物購入などしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は使用できる時間帯を設けているが、自由にやりとりできるようにしている。また家族の方よりハガキが届きやりとりされている方や家族の方より携帯電話持参され掛けることは難しいが、使用されている方もいる		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間に季節を感じる飾りつけなど工夫している。不快等を感じないように清掃に気をつけている	木のぬくもりが有る空間であり、玄関には季節に応じた花が飾られている。入居者様と一緒に作った装飾が飾られ明るく広い空間で入居者様が日中過ごしており、過ごしやすい空間作りに努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	TV前にソファ、玄関ホールに足マッサージ器を設置している。食堂ホールでは音楽を流すなど行っており、各々過ごしやすいように心がけている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が過ごしやすいよう極力使い慣れたものを持参するようにしている。	居室は、ベッドや洗面台が備え付けられている。空きスペースには、今まで自宅で使っていた家具等も持ち込む事も出来る。ホームでは、ご本人が自宅で過ごしておられるような、過ごしやすい工夫がなされている。畳みを希望される方にはご用意する事も行っており、自由に利用して頂いている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全な環境づくりの為、ヒヤリハット等も参考にして危険予知に努めて環境を整えるようにしている		